

KAGAWA アンバサダーからのお便り～依田順子さん～

ルーマニア文化館 (Romanian Cultural Institute) から画家の私宛に、2026年4月に開かれる“Cherry Blossoms” (sakura) と題されたグループ展への参加依頼のメールが入ってきました。それを追うように、数日後にルーマニアの国立文化の日 (National Culture Day of Romania) を祝うイベントへの招待状が届きました。

ルーマニアについて私が知っていることと言ったら女子体操のナディア・コマネチぐらいで、私のニューヨーク在住56年間において、ルーマニアとの関わりが全くなかったので、少々躊躇いたしました。

しかしながら、KAGAWA アンバサダーといたしましては、知らない国との出会いを大事に思い、イベントに参加いたしました。

マンハッタンの東38丁目の静かな住宅街にあるルーマニア文化館のロビーに、「ブランクシー・ギャラリー」と書かれているのを発見。世界中の美術愛好家から愛されている彫刻家、ブランクシーがルーマニア人であったことを思い出しました。

当館のディレクターに自己紹介をし、KAGAWA アンバサダーの名刺を差し上げました。

また、4月に開催される”Cherry Blossoms”展を担当されるルイサ・トゥントック (Luisa Tuntuc) さんと初対面。話が弾みました。

いよいよ、ルーマニアの国立文化の日 (1月15日) を祝うイベントの開始です。

シアター、フィルム、オペラのディレクター、詩人。そしてメンターとして、世界的に知られているルーマニア生まれのガボール・トンパ (Gabor Tompa) が紹介されました。トンパの右側にはやはりルーマニア生まれのミュージシャンがチェロを抱えて位置につき、トンパの左側にはトンパの詩を朗読するルーマニア人の男性とハンガリー人の女性が並んで腰掛けていました。トンパの話の要所要所でチェロが演奏され、又、詩の朗読が行われました。



Romanian Cultural Institute



Gabor Tompa (ガボール・トンパ)



ゲストパフォーマーズの
Vas Eli & Eszter Balint

興味深く思われたことに、詩は、ルーマニア語と英語、ハンガリー語と英語がセットにされて読み上げられたことでした。バックグラウンドにはトンプアによって創造された演劇の場面が始終映し出されていました。

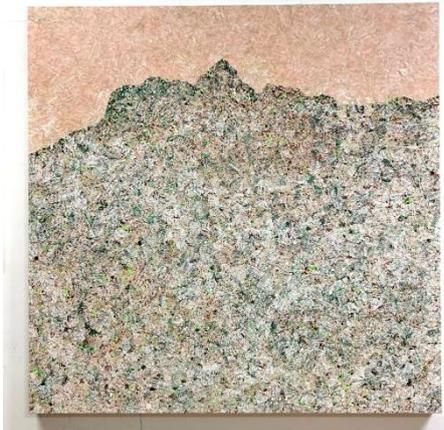
大喝采の元、公演が終了して、レセプションとなりました。テーブルには、ルーマニア産のワインとハンガリー産のワインが仲良く綺麗に並べられていました。おそらく、会場を埋めた参加者は、ルーマニア人は元よりお隣の国、ハンガリー人が混じっていたのに違いありません。

世界の至る所で、争いが絶えない昨今、ルーマニアとハンガリーとの微笑ましい関係を知ることができて幸せでした。

4月の“Cherry Blossoms”展が良い展覧会となりますことを願って止みません。



Cellist—Mihai Marica



依田順子 出品予定作品

“Wild Cherry Blossoms”（山桜）2026

香川県高松市牟礼町にて

素材：和紙、アクリル絵の具、オイル・スティック

サイズ：122cmx122cm



依田 順子（よだ じゅんこ）さん

1969年にニューヨークに移住して以来、ニューヨーク、パリ、東京、香川等で個展やグループ展を多数開催。大原美術館、高松市美術館、広島市現代美術館、三鷹市美術ギャラリー、鳥取県立美術館、The Essl Collection（オーストリア）等に作品所蔵。

ニューヨーク香川県人会前会長。

◇KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。